

令和 3 年 度

小 牧 市 民 病 院 改 革 プ ラ ン
(2021年度～2025年度版)
決 算 比 較

令和4年 10月
小 牧 市

目 次

- 1 小牧市民病院改革プランと令和3年度決算比較及び総括 ……………P 1
- 2 医療機能等指標に係る目標値と令和3年度実績値の比較 ……………P 2
- 3 経営の効率化に対する取り組みの目標値と令和3年度決算の比較 ……………P 4
- 4 再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しに関する検討 ……………P 7
- 5 改革プランと令和3年度決算との比較 ……………P 9
- 6 令和3年度決算と令和2年度決算との比較 ……………P10
- 7 患者数等対目標値年度比較表 ……………P11
- 8 財務指標等対目標値年度比較表 ……………P12
- 9 年度別経営実績の推移 ……………P13

1 小牧市民病院改革プランと令和3年度決算比較及び総括

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症第4波の広がりとともに始まりましたが、新型コロナウイルス感染症への対応については、積極的な病床確保や重症患者の受け入れ、検査会場の設置やワクチン接種に向けた協力体制の整備など、当院は重点医療機関として地域医療を支える重要な役割を担ってきました。

同時に、救急医療、がん診療、高次医療を中心に質の高い医療を提供しつつ、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を図りながら、安定的かつ効率的な病院運営に努めてまいりました。

このような状況の下、令和3年度の経営成績は、新型コロナウイルス感染拡大前の水準には至っていないものの患者数は一定程度回復し、さらに入院、外来ともに一人あたりの診療単価が増額となりました。そのため医業収益は前年度に比べて増加しましたが、給与費・材料費など医業費用が医業収益を上回ったことから医業損失となりました。一方、経常収支では、新型コロナウイルス感染症に関する国・県補助金等の医業外収益の増加により経常利益となり、その結果、令和3年度決算は、2億7,800万円余の純利益となりました。

また、令和3年3月に策定した「小牧市民病院改革プラン（以下「改革プラン」という。）」において医療機能の確保や経営の効率化に関する数値目標を掲げ、その達成に向けて取り組んでまいりましたが、改革プランの策定時には想定することができなかつた新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入院患者数や外来患者数、医業収支比率などは目標値を達成することができませんでした。

今後も、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響が懸念され、病院経営を取り巻く環境は厳しさを増しますが、より一層の経営効率化を図り健全経営に努めるとともに、安全で質の高い急性期医療を提供し、尾張北部医療圏の中核病院として地域の皆様の期待に応えられるよう、引き続き努力を重ねてまいります。

2 医療機能等指標に係る目標値と令和3年度実績値の比較

改革プランでは、当院の果たすべき役割に沿った医療機能を十分に発揮しているかを検証する観点から、医療機能に関する成果（5疾病、5事業、救急医療入院率、初期臨床研修医受入数など）について数値目標を掲げました。

◇医療機能確保対策について

○救急医療に係る目標値比較

(単位:人、%)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
救急外来患者数	23,000	19,175	17,930	83.4%
救急医療入院率	31.0	34.7	31.5	111.9%

○周産期医療に係る目標値比較

(単位:件)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
分娩件数	380	372	335	97.9%

○小児医療に係る目標値比較

(単位:人)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
小児入院患者数	7,000	5,187	4,402	74.1%

○5疾病に係る目標値比較

(単位:人)

	年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
5 疾 病	が ん	3,500	2,871	3,232	82.0%
	脳 卒 中	700	634	526	90.6%
	急性心筋梗塞	200	152	139	76.0%
	糖 尿 病	110	82	94	74.5%
	精 神 疾 患	35	36	22	102.9%

※5疾病とは、がん（大腸、胃、肝、乳、肺など）、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下など）、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の延べ入院患者数。

○がん治療連携に係る目標値比較

(単位:件)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
がん治療連携 医療機関数	170	165	166	97.1%

○医師の育成に係る目標値比較

(単位:人)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
初期臨床研修医 受 入 数	24	24	22	100.0%

【医療機能確保対策の分析】

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発令され、その都度、外出を自粛する方や受診を控える患者さんが多くなる傾向があり、救急外来における軽度な症状の患者さんの受診も減少しました。また、手洗いやうがい、マスクの着用など感染予防に対する意識の高まりから、感染症を発症する患者さんが大きく減少し、加えて小児においては感染症を契機に悪化・発症する喘息重症発作なども減少しています。

そのほか、新型コロナウイルス感染症の入院患者に対応するため、救急患者の受入れ制限や緊急性のない予定入院・手術の延期を行いました。

これらの影響により、救急外来患者数、小児入院患者数、5疾病やがん治療連携に係る指標などの実績値は目標値を達成できませんでしたが、重度な救急受入れ患者の指標となる救急医療入院率は目標値を達成しており、当院が目指す高度急性期・急性期機能の役割は果たせたものと考えています。また、初期臨床研修医受入数も目標値を達成しており、次世代の地域医療を担う医師の教育機関としても十分に機能できたと言えます。

3 経営の効率化に対する取り組みの目標値と令和3年度決算の比較

改革プランでは、病院経営の健全化を確保する観点から主要な経営指標（経常収支比率、経常損益額、職員給与費対医業収益比率、病床利用率、平均在院日数など）について数値目標を掲げました。

◇収入増加・確保対策

ア 病床利用率の維持と平均在院日数の適正化について

○入院収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 決 算 ②	令和2年度 決 算	達成率 ②/①
入 院 収 益	12,841	12,990	12,101	101.2%

○入院患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
入 院 患 者 数	168,960	154,898	149,759	91.7%
1日平均患者数	463	424	410	

○病床利用率の目標値比較

(単位：%)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
病 床 利 用 率	82.3	74.8	72.2	90.9%

○平均在院日数の目標値比較

(単位：日)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ①/②
平均在院日数	11.2	11.0	10.7	101.8%

【病床利用率の維持と平均在院日数の適正化の分析】

クリニカルパス※2による医療の標準化や入退院支援の充実など、入院から退院までの療養計画を効率的かつ効果的に行い、医療の質を落とすことなく病床管理対策を行ってきました。また、高度医療機器の活用としてダヴィンチを用いた手術が増加し、患者さんの体への負担が軽減されたことで入院期間の短縮が可能となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた入院患者数が感染拡大前の水準まで戻っておらず、入院患者数及び病床利用率はそれぞれ目標値を下回りました。

平均在院日数は、救急からの入院患者数の増加などの影響により、前年度比で 0.3 日延長となりましたが、目標値を達成しました。また、高度医療機器の稼働が好調であったことや、新型コロナウイルス感染症の患者の受け入れに伴う診療報酬の加点等があったことなどにより、一人当たりの入院診療収入は増加し、入院収益は目標値を上回りました。

※2：医療提供を効率的に行うための工程管理手法

イ 外来患者数について

○外来収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 決 算 ②	令和2年度 決 算	達成率 ②/①
外 来 収 益	6,870	6,886	6,741	100.2%

○外来患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 実 績	達成率 ②/①
外 来 患 者 数	308,090	278,659	278,024	90.4%
1日平均患者数	1,268	1,150	1,144	

【外来患者数の分析】

治療の標準化と病床の有効活用の観点から、入院検査、術前・術後の検査など外来で行うことができる検査は外来で行うように徹底しました。また、紹介患者の円滑な受け入れ体制を整えるため、症状が安定した患者を地域のかかりつけ医へ積極的に逆紹介し、当院での治療が必要な患者を積極的に受け入れました。さらには、PET-CTの稼働率向上に向けた調整や救急搬送患者の応需率向上に向けた検討などを行い、地域の中で当院が果たすべき役割を強化しつつ、集患のための取組みを進めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた外来患者数が感染拡大前の水準まで戻らず、目標値を下回りました。一方で、がん治療等における高額薬剤の使用が増えたことなどにより一人当たりの外来診療収入は増加し、外来収益は目標値を上回りました。

ウ 診療報酬請求について

診療報酬請求の精度向上のため、医師や看護師、事務職員、委託職員を対象とした診療報酬請求に関する講習会を実施しました。また、毎月各診療科で開催するカンファレンスに事務職員が参加し、診療報酬の査定傾向などの情報共有に努めました。これらの取り組みにより、返戻率は 0.59%（前年度比 2.32 ポイントの減少）、査定率は 0.18%（前年度比 0.04 ポイントの減少）となりました。

エ 未収金対策について

電話による速やかな催告を積極的に行い、発生段階での対応に取り組みました。また、小牧市債権回収特別対策室や小牧市保険医療課と連携して未収金対策に取り組んだ結果、令和 3 年度末時点における未収金額は 111,977 千円余（前年度比 10.3%の減少）となりました。

◇経費削減・抑制対策

オ 委託費の見直しについて

委託契約については、委託業務内容を十分検討し、仕様の見直しや価格交渉に取り組みました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大を境に医療廃棄物処理に係る廃棄単価が上昇、廃棄量が増加したことなどにより、委託料全体で 1.1%の増加となりました。

カ 薬品の見直しについて

薬局を中心に後発医薬品の採用を拡大するとともに、納入業者との単価交渉等に取り組みました。一方で、がん治療薬などの高額な薬剤を用いる患者数の増加などにより、薬剤費全体では増額となりました。

キ 診療材料の見直しについて

管財課を中心に、材料価格について納入業者との単価交渉や、使用材料の見直しなどに取り組みました。一方で、ダヴィンチ手術を行う診療科の拡大や経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）の増加、冠動脈カテーテル治療やアブレーションが増加したことにより、診療材料費全体では増額となりました。

材料費の内訳

(単位：百万円)

年 度	令和3年度 決 算	対医業収益 比率	令和2年度 決 算	対医業収益 比率
材料費	6,844	33.2%	6,311	32.4%
うち薬品費	3,979	19.3%	3,921	20.1%
うち材料費	2,858	13.9%	2,382	12.2%

ク 備品等の見直しについて

多職種で構成した購入等物品機種選定委員会において、改革プランの収支計画を基に購入目安額を設定し、緊急性、重要性などから購入すべき医療機器の選定を行いました。また、購入単価については個別に調査・検討して納入業者との交渉に取り組み、入札により業者を決定しました。

4 再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しに関する検討

○経営指標の目標値比較

(単位：%、百万円)

年 度	令和3年度 計 画 ①	令和3年度 実 績 ②	令和2年度 決 算	達成率 ②/①
経常収支比率	94.3	101.0	97.4	107.1%
現金保有残高	8,108	9,906	10,631	122.2%

【再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの分析】

令和3年度の病床利用率は74.8%であり、新公立病院ガイドラインの再編水準である70%を超えています。また、令和3年度の経営指標においても、経常収支比率、現金保有残高ともに目標値を上回っていることから、現時点における再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの必要性は無いと考えられます。

◇収支計画に係る目標数値比較 (上段：目標値、下段：決算額)

(単位：百万円)

		令和2年度	令和3年度
収 益	医業収益	19,887	20,644
		19,657	20,792
	医業外収益	2,011	2,042
		3,407	4,083
	経常収益 (A)	21,898	22,686
	23,064	24,875	
費 用	医業費用	21,333	22,808
		22,517	23,391
	医業外費用	1,080	1,261
		1,170	1,238
	経常費用 (B)	22,413	24,069
	23,687	24,629	
経常損益 (A)－(B) (C)		△515	△1,383
		△623	246
経常収支比率(%) (A)/(B)		97.7	94.3
		97.4	101.0
特 別 損 益	特別利益 (D)	66	105
		173	164
	特別損失 (E)	364	10
		664	131
特別損益 (D)－(E) (F)		△298	95
		△491	33
純損益 (C)+(F)		△813	△1,288
		△1,114	279
資本的収入		1,838	1,616
		1,250	1,552
資本的支出		3,230	4,700
		3,401	4,226
資本的収支差引額		△1,392	△3,084
		△2,151	△2,674

5. 改革プランと令和3年度決算との比較

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円）

年度		3年度 改革プラン 計画①	3年度 決算②	②/①	
区分					
収 入	1. 医 業 収 益 a	20,644	20,792	100.7%	
	(1) 料 金 収 入	19,711	19,876	100.8%	
	入 院 収 益	12,841	12,990	101.2%	
	外 来 収 益	6,870	6,886	100.2%	
	(2) そ の 他	933	916	98.2%	
	うち他会計負担金	162	162	100.0%	
	2. 医 業 外 収 益	2,042	4,083	200.0%	
	(1) 他会計負担金・補助金	778	736	94.6%	
	(2) 国（県）補助金	23	1,922	8356.5%	
	(3) 長期前受金戻入	1,065	1,222	114.7%	
	(4) そ の 他	176	203	115.3%	
	経 常 収 益 (A)	22,686	24,875	109.6%	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	22,808	23,391	102.6%
		(1) 職 員 給 与 費 c	10,186	10,178	99.9%
(2) 材 料 費		6,283	6,844	108.9%	
(3) 経 費		3,541	3,486	98.4%	
(4) 減 価 償 却 費		2,719	2,735	100.6%	
(5) そ の 他		79	148	187.3%	
2. 医 業 外 費 用		1,261	1,238	98.2%	
(1) 支 払 利 息		96	94	97.9%	
(2) 保 育 費		74	81	109.5%	
(3) そ の 他		1,091	1,063	97.4%	
経 常 費 用 (B)		24,069	24,629	102.3%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△ 1,383	246	△17.8%	
特 別 損 益		1. 特 別 利 益 (D)	105	164	156.2%
		2. 特 別 損 失 (E)	10	131	1310.0%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	95	33	34.7%	
純 損 益 (C)+(F)	△ 1,288	279	△21.7%		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	-		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	15,409	14,538	94.3%	
	流 動 負 債 (イ)	4,094	3,684	90.0%	
	うち一時借入金			-	
	翌年度繰越財源(ウ)			-	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)			-	
	不 良 債 務 (オ)			-	
	差引 {(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)}	△ 11,315	△ 10,854	95.9%	
	単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	-	
	経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.3%	101.0%	107.1%	
	不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	90.5%	88.9%	98.2%		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	49.3%	48.9%	99.2%		
病 床 利 用 率	82.3%	74.8%	90.9%		

2. 収支計画（資本的収支）

（単位：百万円）

年度		3年度 改革プラン 計画①	3年度 決算②	②/①	
区分					
収 入	1. 企 業 債	580	299	51.6%	
	2. 他 会 計 出 資 金			-	
	3. 他 会 計 負 担 金	1,036	1,078	104.1%	
	4. 他 会 計 借 入 金			-	
	5. 他 会 計 補 助 金			-	
	6. 国（県）補助金	0	168	-	
	7. そ の 他	0	7	皆増	
	収 入 計 (a)	1,616	1,552	96.0%	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			-	
	前年度同意債で当年度借入分 (c)			-	
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	1,616	1,552	96.0%	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	1,955	1,493	76.4%
		2. 企 業 債 償 還 金	1,584	1,584	100.0%
		3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金			-
4. そ の 他		1,161	1,149	99.0%	
支 出 計 (B)		4,700	4,226	89.9%	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	3,084	2,674	86.7%		
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	3,056	2,103	68.8%	
	2. 利 益 剰 余 金			-	
	3. 減 債 積 立 金	0	0	-	
	4. 建 設 改 良 積 立 金	0	548	皆増	
	5. そ の 他	28	23	82.1%	
計 (D)	3,084	2,674	86.7%		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	-		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)			-		
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	-		

3. 一般会計からの繰入金

（単位：千円）

年度		3年度 新改革プラン 計画①	3年度 決算②	②/①
区分				
収 益 的 収 支		778,000	898,338	115.5%
資 本 的 収 支		1,036,000	1,077,662	104.0%
合 計		1,814,000	1,976,000	108.9%

6. 令和3年度決算と前年度決算との比較

1. 収益的収支決算比較

(単位:百万円、%)

区分		年度		②-①	②/①	
		2年度 決算①	3年度 決算②			
収 入	1. 医 業 収 益 a	19,657	20,792	1,135	105.8%	
	(1) 料 金 収 入	18,843	19,876	1,033	105.5%	
	入 院 収 益	12,102	12,990	888	107.3%	
	外 来 収 益	6,741	6,886	145	102.2%	
	(2) そ の 他	814	916	102	112.5%	
	うち他会計負担金	148	162	14	109.5%	
	2. 医 業 外 収 益	3,407	4,083	676	119.8%	
	(1) 他会計負担金・補助金	572	736	164	128.7%	
	(2) 国(県)補助金	1,516	1,922	406	126.8%	
	(3) 長期前受金戻入	1,135	1,222	87	107.7%	
	(4) そ の 他	184	203	19	110.3%	
	経 常 収 益 (A)	23,064	24,875	1,811	107.9%	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	22,517	23,391	874	103.9%
		(1) 職 員 給 与 費 c	9,849	10,178	329	103.3%
(2) 材 料 費		6,311	6,844	533	108.4%	
(3) 経 費		3,502	3,486	△ 16	99.5%	
(4) 減 価 償 却 費		2,759	2,735	△ 24	99.1%	
(5) そ の 他		96	148	52	154.2%	
2. 医 業 外 費 用		1,170	1,238	68	105.8%	
(1) 支 払 利 息		105	94	△ 11	89.5%	
(2) 保 育 費		74	81	7	109.5%	
(3) そ の 他		991	1,063	72	107.3%	
経 常 費 用 (B)		23,687	24,629	942	104.0%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△ 623	246	869	△ 39.5%	
特 別 損 益		1. 特 別 利 益 (D)	173	164	△ 9	94.8%
		2. 特 別 損 失 (E)	664	131	△ 533	19.7%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 491	33	524	△ 6.7%	
純 損 益 (C)+(F)	△ 1,114	279	1,393	△ 25.0%		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	-		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	15,532	14,538	△ 994	93.6%	
	流 動 負 債 (イ)	3,717	3,684	△ 33	99.1%	
	うち一時借入金			-	-	
	翌年度繰越財源(ウ)			-	-	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)			-	-	
	差引 不 良 債 務 (オ) {(イ)-(エ)}-(ア)-(ウ)	△ 11,815	△ 10,854	961	91.9%	
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	0	-		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.4%	101.0%	-	103.7%		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	-		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	87.3%	88.9%	-	101.8%		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	50.1%	48.9%	-	97.6%		
病 床 利 用 率	72.2%	74.8%	-	103.6%		

2. 資本的収支決算比較

(単位:百万円、%)

区分		年度		②-①	②/①	
		2年度 決算①	3年度 決算②			
収 入	1. 企 業 債	170	299	129	175.9%	
	2. 他 会 計 出 資 金			-	-	
	3. 他 会 計 負 担 金	987	1,078	91	109.2%	
	4. 他 会 計 借 入 金			-	-	
	5. 他 会 計 補 助 金			-	-	
	6. 国(県)補助金	106	168	62	158.5%	
	7. そ の 他	5	7	2	140.0%	
	収 入 計 (a)	1,268	1,552	284	122.4%	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	18	0	△ 18	皆減	
	前年度同意債で当年度借入分 (c)			-	-	
	純計(a)-(b)+(c) (A)	1,250	1,552	302	124.2%	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	1,174	1,493	319	127.2%
		2. 企 業 債 償 還 金	1,578	1,584	6	100.4%
		3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金			-	-
4. そ の 他		649	1,149	500	177.0%	
支 出 計 (B)		3,401	4,226	825	124.3%	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	2,151	2,674	523	124.3%		
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,427	2,103	676	147.4%	
	2. 利 益 剰 余 金			-	-	
	3. 減 債 積 立 金	189	0	△ 189	皆減	
	4. 建 設 改 良 積 立 金	310	548	238	176.8%	
	5. そ の 他	225	23	△ 202	10.2%	
計 (D)	2,151	2,674	523	124.3%		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	-		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)			-	-		
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	-		

3. 一般会計からの繰入金比較

(単位:千円)

区分		年度		②-①	②/①
		2年度 決算①	3年度 決算②		
収 益 的 収 支		720,870	898,338	177,468	124.6%
資 本 的 収 支		987,147	1,077,662	90,515	109.2%
合 計		1,708,017	1,976,000	267,983	115.7%

7. 患者数等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇入院患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入 院 患 者 数	170,500	175,400	168,960
	165,626	149,759	154,898
1 日 平 均 患 者 数	466	481	463
	453	410	424

◇病床利用率の比較

(単位:%)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
病 床 利 用 率	82.0	84.5	82.3
	79.4	72.2	74.8

◇平均在院日数の比較

(単位:日)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
平 均 在 院 日 数	10.8	10.7	11.2
	11.2	10.7	11.0

◇外来患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
外 来 患 者 数	300,000	291,600	308,090
	295,292	278,024	278,659
1 日 平 均 患 者 数	1,250	1,200	1,268
	1,230	1,144	1,150

8. 財務指標等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇財務全般に係る指標対目標値年度比較

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(1) 経常収支比率 (%)	95.6	97.7	94.3
	91.8	97.4	101.0
(2) 医業収支比率 (%)	92.4	93.2	90.5
	88.7	87.3	88.9
(3) 職員給与費対医業収益比率 (%)	47.9	47.2	49.3
	50.0	50.1	48.9
(4) 資金不足比率 (%)	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0
(5) 入院患者一人1日当たりの診療収入 (円)	71,500	71,400	76,000
	72,623	80,836	83,860
(6) 外来患者一人1日当たりの診療収入 (円)	21,600	22,100	22,300
	22,288	24,289	24,712
(7) 現金保有残高(百万円)	-	-	8,108
	12,872	10,632	9,906

◇医療機能(5疾病5事業等)に係る目標数値比較

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
5疾病	がん (人)	3,500	3,500	3,500
	脳卒中 (人)	3,189	3,232	2,871
	急性心筋梗塞 (人)	700	700	700
	糖尿病 (人)	515	526	634
	精神疾患 (人)	200	200	200
		148	139	152
		110	110	110
		72	94	82
		35	35	35
		15	22	36
5事業	救急医療 (人)	25,000	27,000	23,000
	周産期医療 (件)	21,284	17,930	19,175
	小児医療 (人)	350	350	380
		363	335	372
	災害医療 (件)	8,000	8,000	7,000
	へき地医療 (件)	7,012	4,402	5,187
	-	-	-	
	-	-	-	
	-	-	-	
	-	-	-	
臨床研修医の受入人数 (人)	24	24	24	
	22	22	24	

- 5疾病は、がん(大腸、胃、肝、乳、肺など)、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下など)、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示しています。
- 5事業は、救急医療(救急外来患者数)、周産期医療(分娩数)、小児医療(小児科入院数)、災害医療、へき地医療の件数を表示しています。
- 臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

9. 年度別経営実績の推移

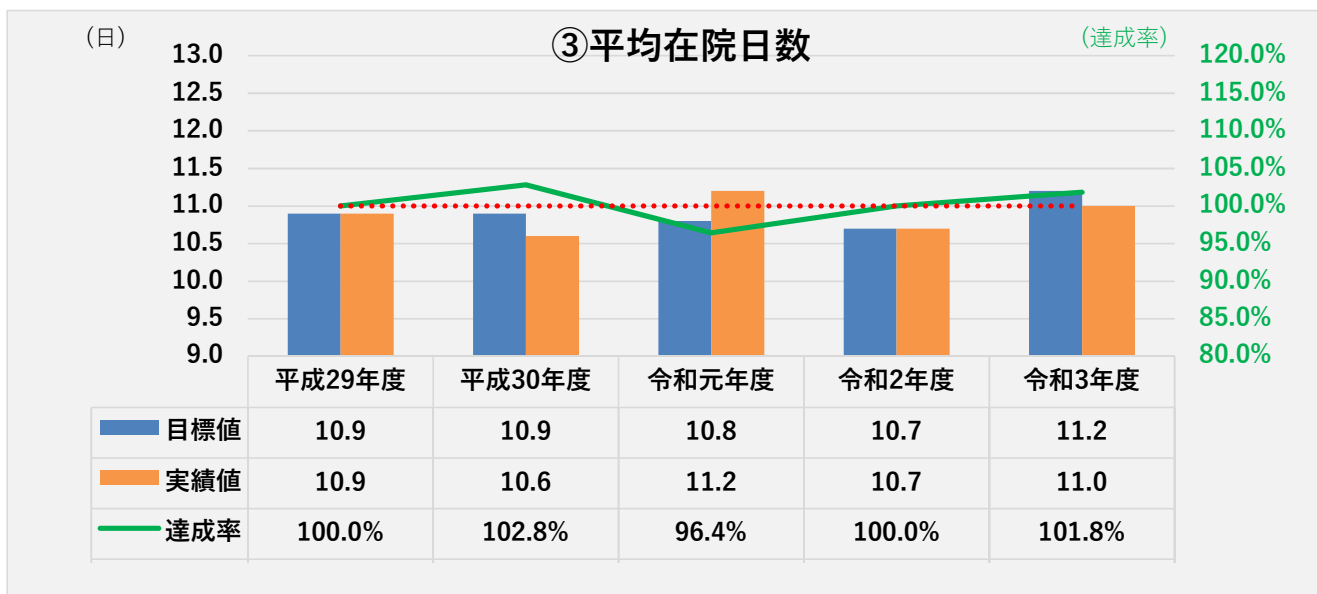
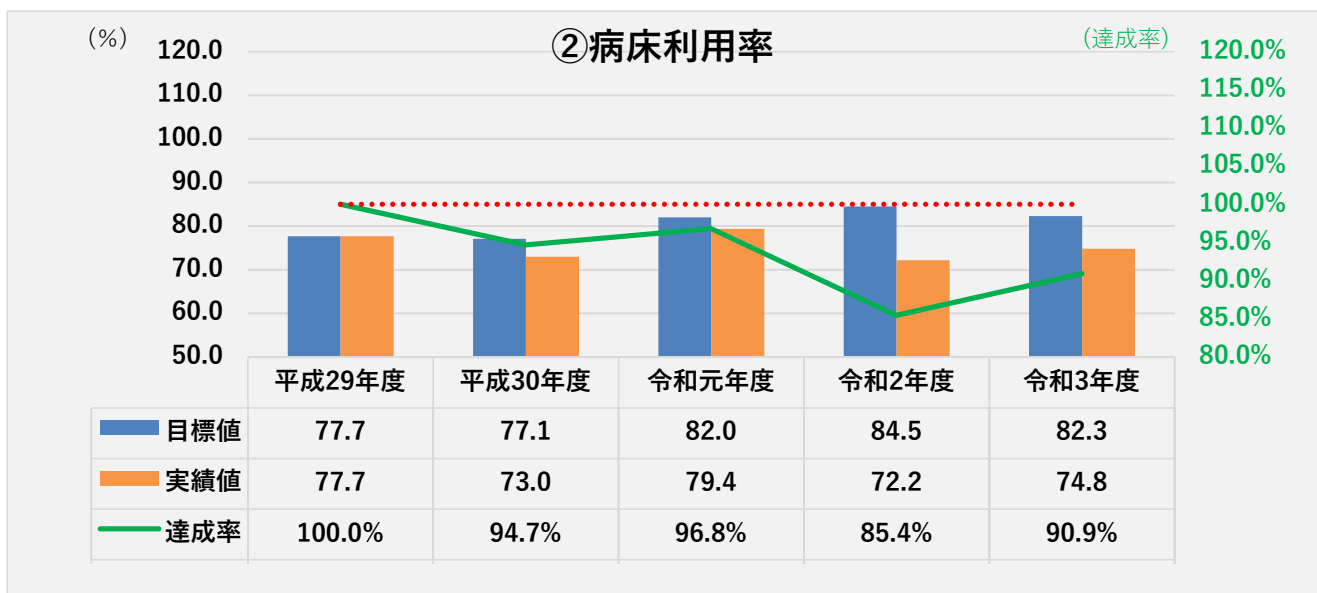
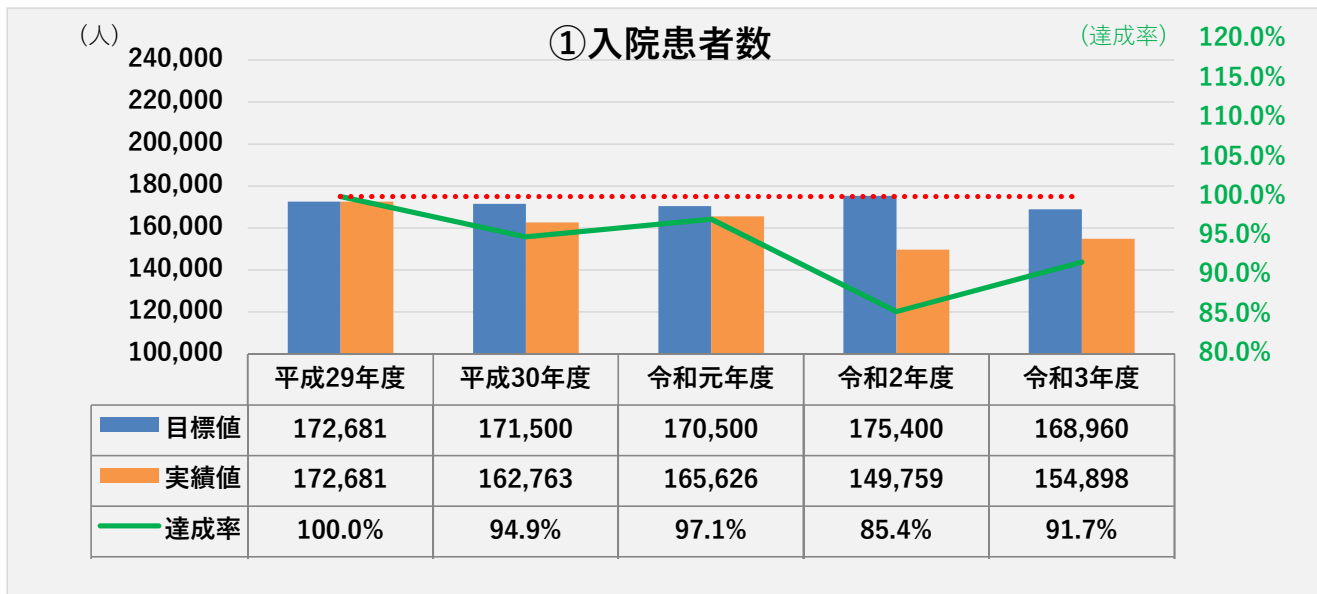
(経営指標)

項 目	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
(1) 経常収支比率 (%)	100.2	97.2	91.8	97.4	101.0	
(2) 医業収支比率 (%)	100.0	98.7	88.7	87.3	88.9	
(3) 他会計繰入金対医業収益比率 (%)	3.3	3.9	3.9	3.7	4.3	
(4) 職員給与費対医業収益比率 (%)	49.3	49.8	50.0	50.1	48.9	
(5) 病床利用率 (%)	77.7	73.0	79.4	72.2	74.8	
(6) 平均在院日数 (日)	10.9	10.6	11.2	10.7	11.0	
(7) 患者紹介率 (%)	68.1	64.9	67.2	67.0	66.6	
(8) 100床当たり一日平均患者数	入院(人)	84.8	79.9	87.0	78.8	81.6
	外来(人)	235.4	228.7	236.6	220.0	221.4
(9) 患者一人1日当たり診療収入	入院(円)	68,688	71,757	72,623	80,836	83,860
	外来(円)	20,193	20,904	22,288	24,289	24,712
(10) 職員一人1日当たり診療収入	医師(円)	291,292	292,527	288,646	275,777	283,868
	看護部門(円)	72,728	74,114	77,203	76,938	83,763
(11) 病床100床当たり職員数	医師(人)	30.7	29.9	34.4	36.0	36.7
	看護部門(人)	123.3	120.1	127.8	129.0	128.3
	全体(人)	200.9	197.7	215.3	222.1	223.7
(12) 資金期末残高 (百万円)	22,351	21,434	12,872	10,631	9,906	

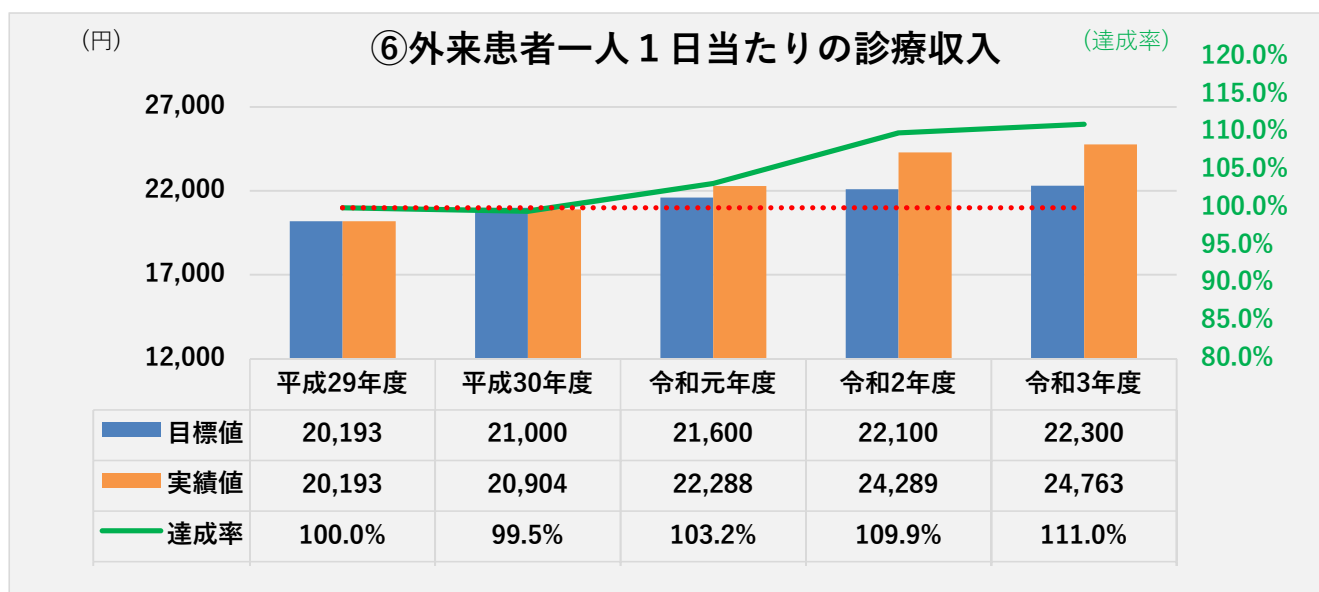
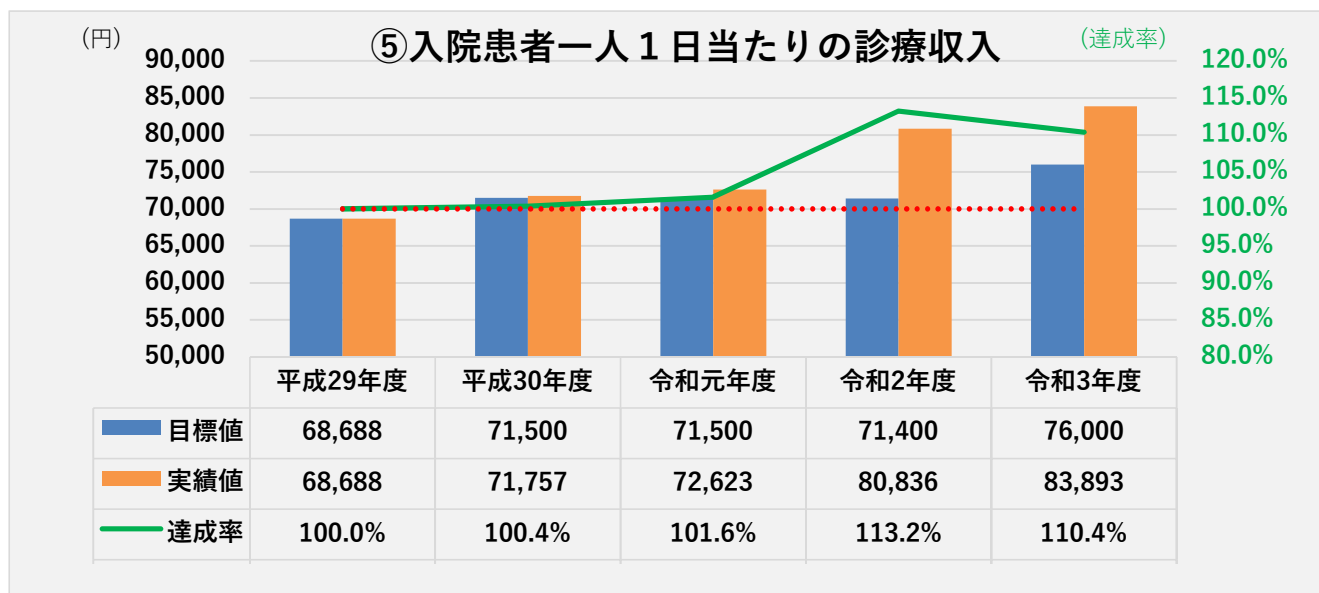
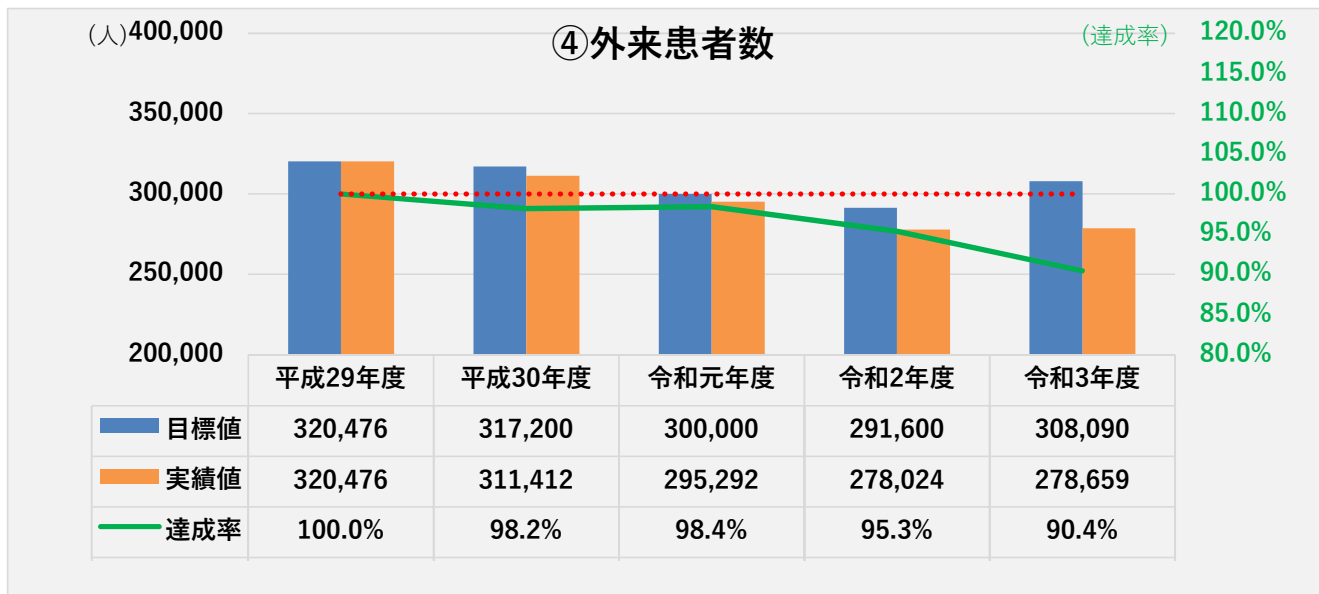
(収益額・患者数)

項 目	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
(1) 入院収益 (千円)	11,861,082	11,677,910	12,023,171	12,101,949	12,989,681
(2) 外来収益 (千円)	6,471,372	6,500,018	6,569,969	6,741,340	6,886,174
(3) 入院患者数 (人)	172,681	162,763	165,626	149,759	154,898
(4) 外来患者数 (人)	320,476	311,412	295,292	278,024	278,659
平 日 日 数 (日)	244	244	240	243	242

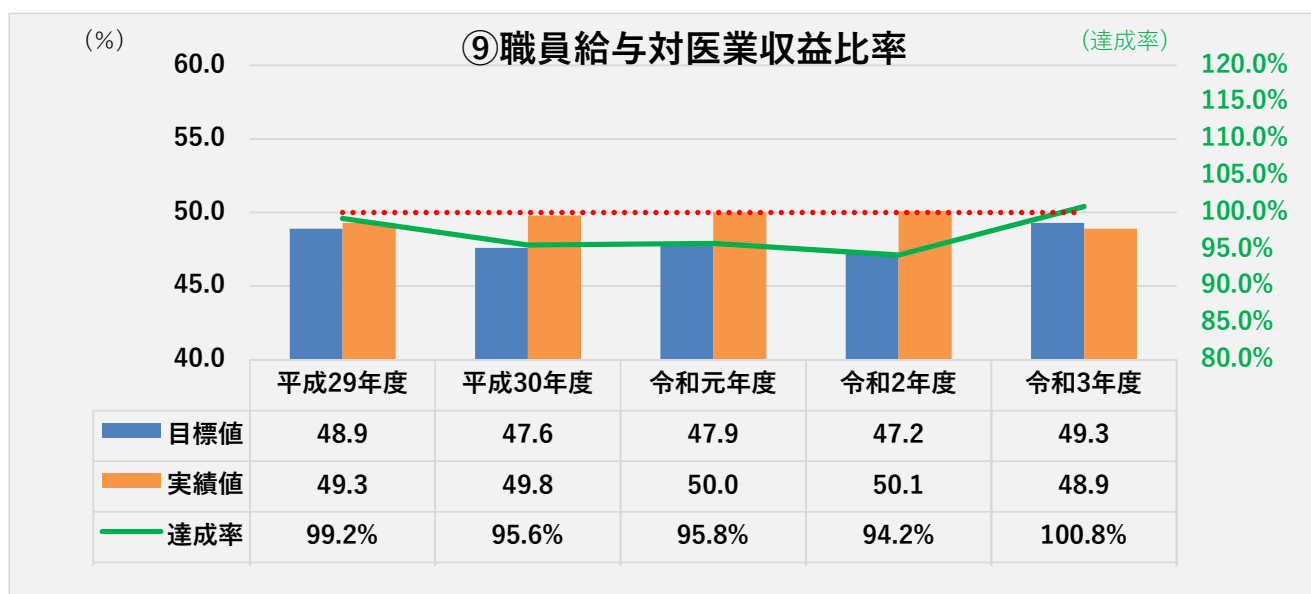
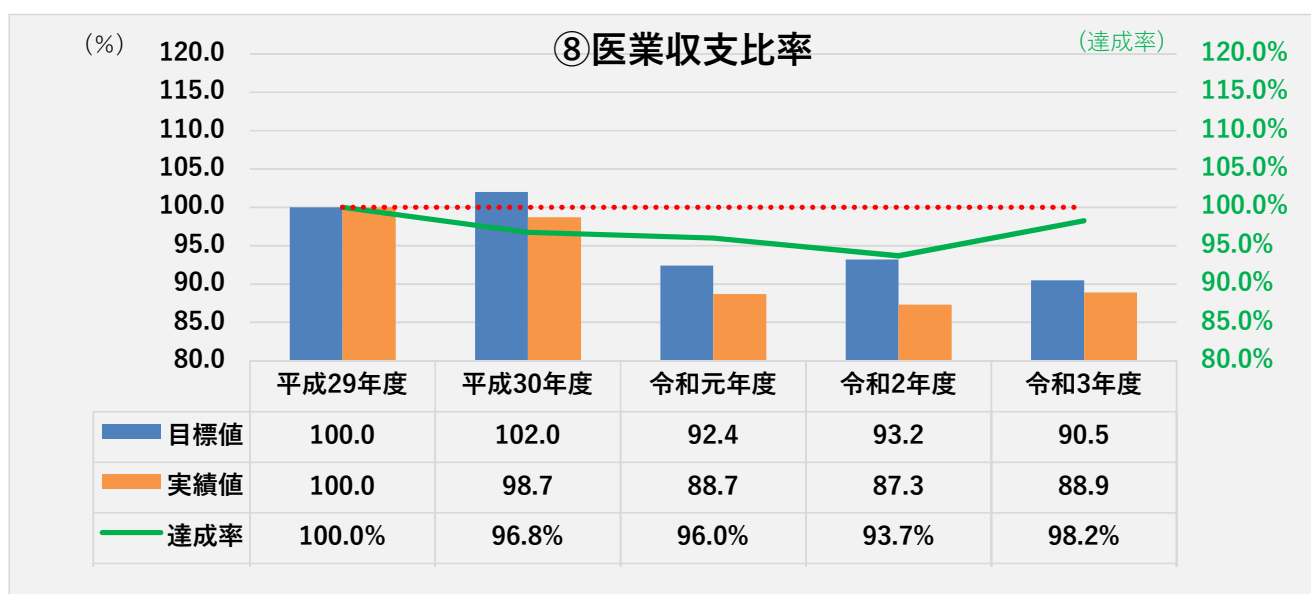
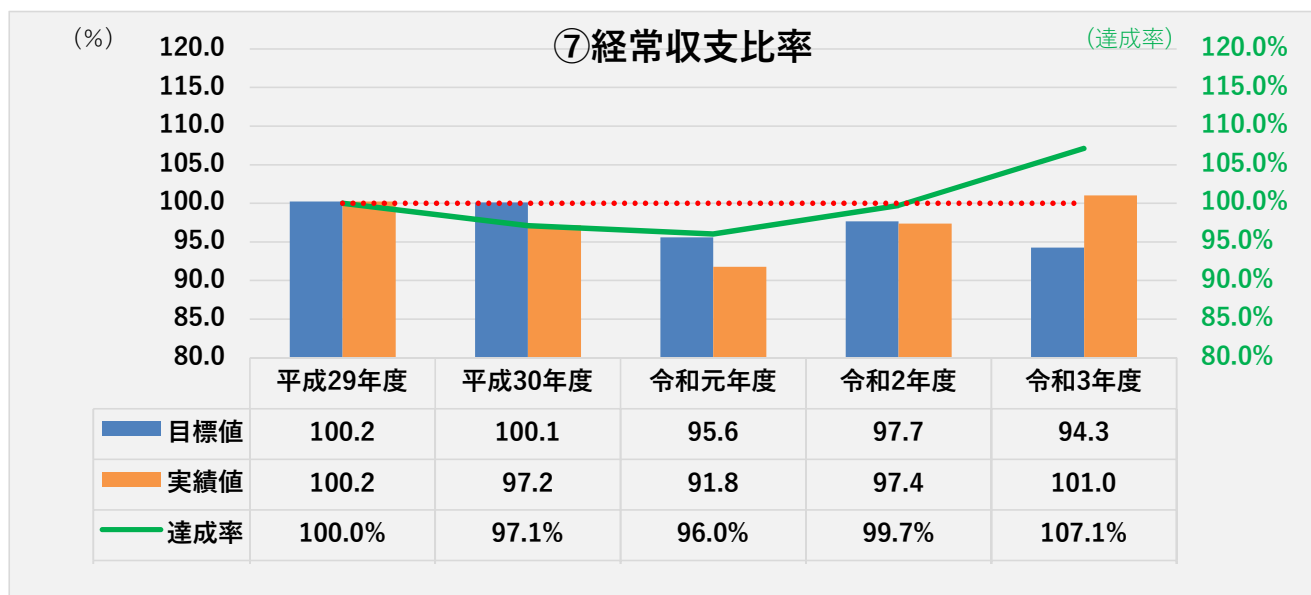
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



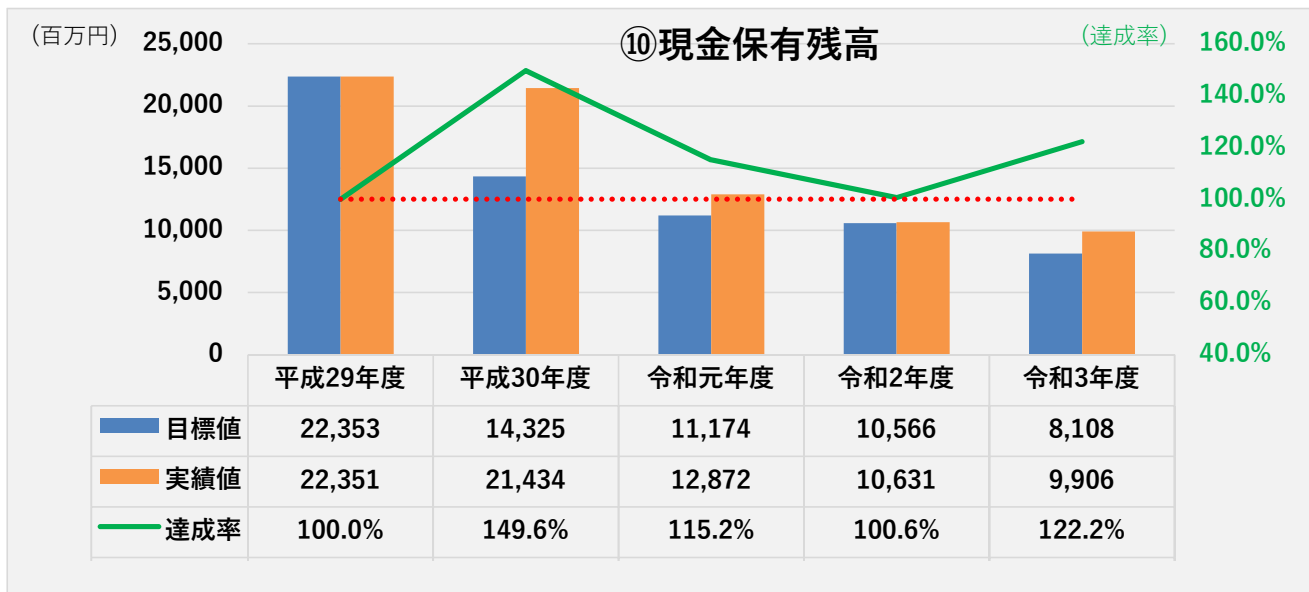
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



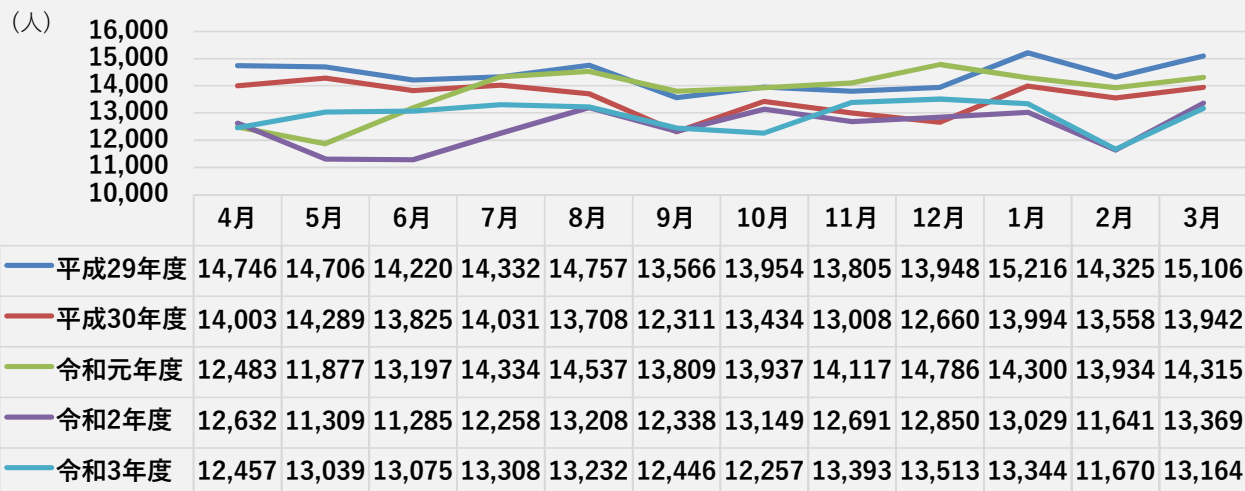
小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



小牧市民病院改革プラン 経営指標の推移



【参考】 月別入院患者数の推移



【参考】 月別外来患者数の推移

